

「さが市議会だより」

第85号

★リニューアル★  
挑戦中

六カ、ハ、

# 市議会 だより

ゆったりとした線を引き、見る方が落ち着いた  
気持ちになるよう意識して書きました。

「題字」佐賀北高等学校3年  
古賀 美々子さん



三瀬村 鬼ヶ鼻岩からの眺望

## 令和6年2月定例会

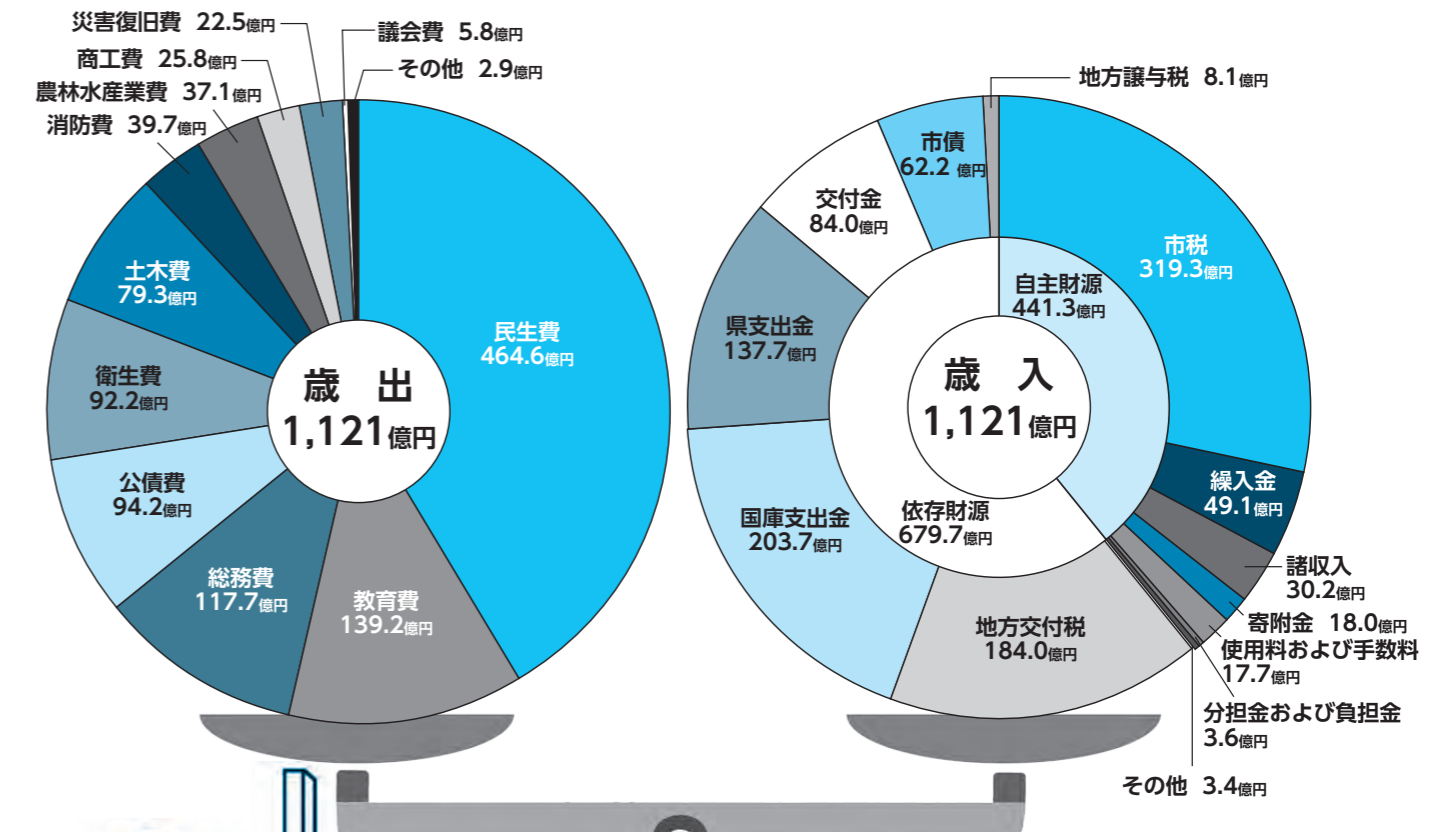
- 2 | 令和6年度佐賀市の予算
- 12 | 「市政 ここが聞きたい」  
■一般質問に24名の議員が登壇
- 21 | 佐賀東高校×市議会  
■意見交換会を開催！
- 22 | 議員からのメッセージ  
■議会報告会に向けて
- 24 | 議会報告会のお知らせ



佐賀市議会HP

# 一般会計 予算

## 令和6年度佐賀市の 過去最大の1,121億円でスタート

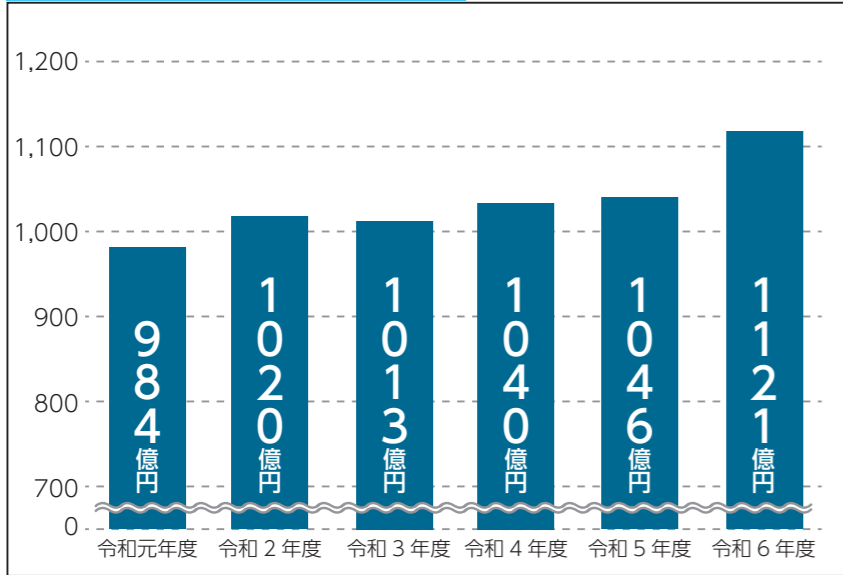


歳出予算1,121億円を、項目別に佐賀市の人口227,674人(令和6年2月末現在)で割って、100円単位で四捨五入した金額です。合計すると、一人当たり49万2,400円になります。

### 一般会計の歳出予算を市民一人分に換算してみよう

<b>民生費</b> 20万4,100円 社会福祉、高齢福祉、児童福祉などに	<b>教育費</b> 6万1,100円 学校、幼稚園、社会教育などに	<b>総務費</b> 5万1,700円 市役所の管理、運営、広報などに
<b>公債費</b> 4万1,400円 市債の元金償還と利子の支払などに	<b>衛生費</b> 4万500円 保健衛生、ごみ、し尿処理などに	<b>土木費</b> 3万4,800円 道路、公園、河川の維持管理などに
<b>消防費</b> 1万7,400円 消防、救急、防災活動などに	<b>農林水産業費</b> 1万6,300円 農林水産業の振興などに	<b>商工費</b> 1万1,300円 商工業の振興などに
<b>災害復旧費</b> 9,900円 災害により受けた被害の復旧などに	<b>議会費</b> 2,600円 市議会の運営などに	<b>その他</b> 1,300円

### 一般会計当初予算の推移



### 令和6年度の予算規模

会計		当初予算額	前年度比	
一般会計		1,121億円	7.2	
特別会計	国民健康保険	265億3,000万円	0.2	
	国民健康保険診療所	1億1,900万円	△7.0	
	後期高齢者医療	42億5,600万円	10.9	
企業会計	自動車運送 (市営バス)	収益的収入	11億4,500万円	8.9
		収益的支出	12億1,600万円	9.5
		資本的収入	3,600万円	5.9
		資本的支出	7,900万円	△30.7
	水道	収益的収入	45億9,400万円	0.5
		収益的支出	41億9,900万円	2.0
		資本的収入	6億7,400万円	△19.6
		資本的支出	24億4,200万円	△4.9
	工業用水道	収益的収入	2,000万円	53.8
		収益的支出	1,700万円	30.8
		資本的収入	2,000万円	53.8
		資本的支出	2,700万円	58.8
	下水道	収益的収入	84億8,400万円	2.3
		収益的支出	83億5,800万円	1.7
		資本的収入	55億4,900万円	4.3
		資本的支出	77億5,600万円	11.0
富士大和温泉病院	収益的収入	14億6,000万円	△4.2	
	収益的支出	15億3,800万円	△1.5	
	資本的収入	3億4,600万円	11.6	
	資本的支出	3億6,100万円	△1.4	

・収益的収入および支出とは、一事業年度の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用をいいます。  
 ・資本的収入および支出とは、建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と、その財源となる収入をいいます。

令和6年度予算のテーマは「佐賀市まるごと」全力応援予算」

予算編成の背景  
 国の地方財政への基本的な考え方として、社会保障関係経費や人件費の増加が見込まれる中、地方が住民ニーズに応えつつ、子ども・子育て政策の強化などさまざまな行政課題

に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、前年度と同水準を確保するとされています。

経済状況は、コロナ禍の3年間で乗り越え、改善しつつあり、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きがみられます。その一方で、賃金上昇は物価上昇に追いつかず、個人消費は依然として力

強さを欠いているなど、地域経済の回復はまだまだ途上にあります。

このようなことから、健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に生かし、「佐賀らしさ」を大切にしながら、佐賀の良いところをさらに磨き上げ、市民の皆様を全力で応援するための「佐賀市まるごと」全力応援予算」として編成されています。

議会から  
 過去最大の額となった当初予算を可決しました。予算は、議決して終わり、ではありません。議事は、今後1年間、予算が計画どおりに使われているか、常にいろいろなところにアンテナを張り、事業の進み具合や効果をしっかりチェックしていきます。

今年、議会報告会を市内9カ所で開催します。ぜひ報告会にお越しいただき、議会や市に伝えたいことをお聞かせください。

# 令和6年2月定例会の概要

## 議決した案件の内訳

●当初予算案	9件	●補正予算案	8件	●条例案	17件	●一般	7件
●人事(同意案)	24件	●人事(諮問)	4件	●請願	2件	合計	71件

令和6年2月定例会は2月27日に開会し、3月19日に閉会しました。

今回の補正予算は、緊急な措置を要する事業のほか、国の予算措置に呼応した事業や決算見込み等による補正です。主なものは、次のとおりです。

・令和5年7月豪雨災害の復旧事業関連で、本年度予算で対応できない部分を翌年度予算で対応するための減額  
 ・企業立地支援事業  
 製造業や事務系企業等の立地を奨励し、産業の振興および雇用の拡大を図るため、一定の要件を満たす市内に進出した企業に対し、設備の導入等に要する経費の一部を補助するもの  
 補正予算の総額は約34億3200万円の減額で、補正後の令和5年度予算総額は約1160億6900万円となり、前年度同期と比べ3.6%の増となりました。

令和6年度の一般会計当初予算は令和5年度に比べ75億円、7.2%増の1121億円となりました。  
 (詳細はP23、P68)

## 人事

農業委員会委員の任命について同意しました。(議案42、65)

飯盛 秀俊氏	鶴池 隆喜氏	江口 典弘氏	大園 敏明氏	蒲原 茂氏	北村 子氏	式町 弘氏	田中 郁子氏	千綿 文太郎氏	長尾 貞文氏	永沢 昭氏	中山 光氏
飯盛 秀俊氏	鶴池 隆喜氏	江口 典弘氏	大園 敏明氏	蒲原 茂氏	北村 子氏	式町 弘氏	田中 郁子氏	千綿 文太郎氏	長尾 貞文氏	永沢 昭氏	中山 光氏
布上 直道氏	野田 政光氏	野田 悦伸氏	平尾 泰弘氏	藤野 兼治氏	増田 政治氏	宮崎 和彦氏	八次 正氏	山田 敦氏	山田 智氏	山田 道春氏	吉田 和文氏

人権擁護委員候補者の推薦について異議なき旨答申しました。(諮問1、4)

御厨 秀樹氏	藤野 真也氏	栗原 大次郎氏	大石 弥生氏
--------	--------	---------	--------

## 賛否が分かれた議案等の採決結果

賛成：○ 反対：● 退席：退 欠席：欠

会派等	自民さが		ネットワーク佐賀		緑楠自民		自民政進会		公明党		自民清流		市																								
氏名	江頭 弘美	川副 義之介	西岡 正明	千綿 幹哉	松永 健	宮崎 新子	江原 健二	川崎 健二	稲葉 嵩広	山田 誠一郎	松永 憲明	久米 勝也	富永 明美	江口 善己	藤田 佳典	重田 音彦	実松 尊信	黒田 利人	中野 茂康	川原 裕明	福井 章司	永沢 史孝	嘉村 弘和	堀 正之	諸富 八千代	野中 宣明	村岡 卓	中村 宏志	中島 妙子	西岡 真一	御厨 洋行	重松 徹	平原 嘉徳	山下 明子			
第1号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		
第2号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
第4号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
第8号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
第29号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
第32号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
請願受理番号1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
請願受理番号2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

市…市民共同  
 (山口弘展議員は議長のため、採決に加わっていません。)

# 議案等の審議結果

議案番号	議案名	概要等	結果
1	令和6年度一般会計予算	総額 1,121億円	可決
2	令和6年度国民健康保険特別会計予算	総額 265億2,975万円	可決
3	令和6年度国民健康保険診療所特別会計予算	総額 1億1,940万円	可決
4	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	総額 42億5,575万円	可決
5	令和6年度自動車運送事業会計予算(市営バス)		可決
6	令和6年度水道事業会計予算		可決
7	令和6年度工業用水道事業会計予算		可決
8	令和6年度下水道事業会計予算		可決
9	令和6年度富士大和温泉病院事業会計予算		可決
10※	令和5年度一般会計補正予算(第11号)	△34億3,235万円	可決
11※	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	補正額 9,195万円	可決
12※	令和5年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)	補正額 △1,048万円	可決
13※	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	補正額 △3,927万円	可決
14※	令和5年度自動車運送事業会計補正予算(第2号)(市営バス)		可決
15※	令和5年度水道事業会計補正予算(第2号)		可決
16※	令和5年度下水道事業会計補正予算(第2号)		可決
17※	令和5年度富士大和温泉病院事業会計補正予算(第1号)		可決
18	職員定数条例の改正	本庄こども園の運営を開始するため職員の定数の変更等を行う	可決
19	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の改正	地方自治法の一部改正により会計年度任用職員に対する勤労手当の支給が可能となったことを踏まえ、会計年度任用職員に支給する勤労手当について定める	可決
20	消防団員等公務災害補償条例の改正	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、損害補償の補償基礎額を改定する	可決
21	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、引用している規定の見直し等を行う	可決
22	やまびこの湯条例の改正	佐賀市やまびこの湯の使用料の適正化を図るため、入館料を改定する	可決
23	桜基金条例を廃止する条例	桜苗木購入に充てるため設置した桜基金の全部を処分することに伴い、同基金を廃止する	可決
24	漁港管理条例及び風致地区内における建築等の規制に関する条例の改正	漁港漁場整備法の一部改正に伴い、引用している法律の名称を変更する	可決
25	空家空地等の適正管理に関する条例の改正	適切な管理が行われていない空家空地等に対する措置の拡充等を行う	可決
26	手数料条例の改正	既存建築物の大規模修繕等に対する制限の適用除外の認定申請に係る手数料を定める	可決
27	市営住宅条例の改正	春日丘団地を廃止する	可決
28※	手数料条例の改正	戸籍法等事務に係る各手数料を定める	可決
29	国民健康保険税条例の改正	佐賀県が提示した標準保険税率を参考に国民健康保険税の税率等を改定する	可決
30	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正	特定教育・保育施設および特定地域型保育事業ならびに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、重要事項を閲覧に供する方法の追加等を行う	可決
31	公民館条例の改正	西川副公民館の改築に伴い、公民館の位置及び使用料を定める	可決
32	学校給食センター設置条例の改正	三瀬地区の小中学校の給食センターを富士学校給食センターに変更することに伴い、三瀬学校給食センターを廃止する	可決
33	自動車運送事業の設置等に関する条例等の改正	地方自治法の一部改正に伴い、引用している条項を変更する	可決
34	水道事業給水条例及び水道事業における布設工事監督者を配置する水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の改正	水道法等の一部改正により同法の所管が厚生労働大臣から国土交通大臣および環境大臣に変更されることに伴い、所要の改正を行う	可決
35	三神地区環境事務組合規約の変更	三養基郡町村会の名称が佐賀東部町長会に変更されたことに伴い、三神地区環境事務組合規約を変更する	可決
36	字の区域の変更及び設定	鍋島町大字蛸久、大字鍋島および大字森田の区域の一部において、字の区域の変更および設定をする	可決
37	市道路線の認定	住吉神社西3号線ほか7路線	可決
38	諸富町公民館新築(建築)工事請負契約の締結	大洋・富士特定建設工事共同企業体	可決
39	諸富文化体育館空調設備等改修工事請負契約の一部変更	契約金額を383万9千円増額	可決
40	財産の取得	令和6年度小学校教師用指導書及びデジタル教科書	可決
41	専決処分(令和5年度佐賀市一般会計補正予算(第10号))		承認
42~65	佐賀市農業委員会委員の任命	24名	同意
諮問1~4	人権擁護委員候補者の推薦	4名	異議なし
請願1	健康保険証の存続を求める請願書		不採択
請願2	国民健康保険税の減額を求める請願		不採択

水色で着色した議案等は、賛否が分かれたものです。左ページに詳細を掲載しています。  
 ※は2月29日に議決、その他は3月19日に議決

# 令和6年度 当初予算主要事業

## 総務

★は新規事業

### ☆久保田地区公共施設再編整備事業

3億181万円

- ・農村環境改善センターに老人福祉センター、農村高齢者交流施設および保健センターの機能を集約するための整備に要する経費(令和5・6年度継続費 総額4億8067万円)

### ☆物流拠点構想策定経費

2155万円

- ・南部地域における物流拠点構想の策定に要する経費

### ☆ふるさと納税推進事業

8億9438万円

- ・寄附者へのお礼品の発送等の事務経費およびふるさと納税の促進に向けた各種プロモーション等に要する経費

### ☆地方創生移住支援事業

6880万円

- ・県外から本市に移住し、就業、起業等をした者への支援金の交付に要する経費

### ☆スマートシティ推進経費

1億6327万円

- ・佐賀市公式スーパーアプリの機能拡充等に要する経費

### ☆次世代交通実証事業

2146万円

- ・ニューモビリティに係る調査・研究および自動運転の実証実験に要する経費



### ★SAGA2024国スポ全障スポおもてなし関連経費

1億365万円

- ・SAGA2024国スポ・全障スポの参加者や来訪者へのおもてなしの実施および本市の魅力発信に要する経費

### ☆子ども・子育て支援関連経費

118億1913万円

- ・子どものための教育・保育給付、子育てのための施設等利用費、子ども・子育て支援事業等に要する経費

### ☆私立保育園等整備助成経費

2億7550万円

- ・教育・保育施設の増改築等を実施する事業者に対する整備費用の補助経費
- ・私立保育園等整備事業費補助金(令和6年度から令和7年度までの債務負担行為限度額 3億9218万円)

### ★こども誰でも通園制度試行的事業

4152万円

- ・こども誰でも通園制度(仮称)の本格実施を見据えた試行的事業の実施に要する経費

### ☆保育施設等給食物価高騰等対策経費

7447万円

- ・保育施設等の給食に係る食材費等の物価上昇相当分の補助等に要する経費

### ☆松梅保育所改修事業

3431万円

- ・松梅保育所の屋根および中庭等の改修に要する経費

### ☆児童手当支給経費

39億2300万円

- ・児童手当の現行制度分および令和6年10月分からの制度拡充分の支給に要する経費

### ☆子ども医療費助成経費

8億5047万円

- ・0歳から中学生までの医療費助成に要する経費

### ☆男女共同参画啓発推進事業

1186万円

- ・ジェンダーギャップ解消に向けた取り組みに要する経費

### ☆三重津海軍所跡整備事業

2億813万円

- ・三重津海軍所跡の屋外展示整備等に要する経費

### ★東名遺跡・埋蔵文化財センター整備事業

2億2693万円

- ・東名遺跡ガイダンス施設および埋蔵文化財センターの整備に要する経費

### ★アーバンスポーツ推進事業

620万円

- ・アーバンスポーツを普及促進するためのイベントの開催等に要する経費

### ☆佐賀バルーンズ連携事業

5000万円

- ・佐賀バルーンズとの連携・交流に要する経費

### ☆国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業

34億3700万円

- ・SAGA2024国スポ・全障スポ本大会および競技別リハーサル大会の開催に要する経費

### ★久保田児童センター移転整備事業

1034万円

- ・久保田児童センターの移転整備に伴う設計等に要する経費

### ☆オンライン英会話の試験導入経費

548万円

- ・市立中学校の英語授業におけるオンライン英会話の試験導入に要する経費

### ★包括支援プログラム導入事業

517万円

- ・特別支援学級等の児童生徒の認知機能強化を図るためのウェブアプリの導入に要する経費

### ★学級満足度調査・分析事業

871万円

- ・児童生徒に対するウェブ版学級満足度調査の導入に要する経費

### ☆部活動地域展開関連事業

1463万円

- ・部活動の地域展開に向けた方策の検証および地域指導者の活用等に要する経費

### ★プログラミングソフト導入事業

1281万円

- ・市立中学校におけるプログラミング学習用教材ソフトの導入に要する経費

### ☆学校給食物価高騰等対策経費

6765万円

- ・物価高騰等のため改定した学校給食費の値上げ相当分の補助経費



## 福祉教育

### ☆障害者自立支援給付事業・障害児通所支援事業

93億6926万円

- ・障がい者の介護・訓練サービス、障がいのデイサービス、自立支援医療等の給付経費

### ☆データ活用による介護予防推進事業

1963万円

- ・高齢者の医療、介護、健診データや高齢者実態調査によるフレイル状態のデータ分析および介護予防等の個別・集団支援に要する経費

### ☆産婦健康診査(1か月健診拡充)

1577万円

- ・産後2週間健診および1か月健診の実施に要する経費

### ☆児童クラブ運営経費

6億1753万円

- ・専用館および余裕教室等を活用した児童クラブの運営および民間事業者への運営委託に要する経費

### ☆北川副児童クラブ館借上料

(令和6年度から令和12年度までの債務負担行為限度額 1億2188万円)

### ★キャッシュレス決済導入経費(児童クラブ利用料)

158万円

- ・児童クラブ利用料に係るキャッシュレス決済の導入に要する経費



## 経済産業

### ☆産業支援プラザ管理運営事業

3423万円

- ・産業支援プラザの管理運営およびリニューアル工事に要する経費

### ★映画「ら・かんばねら」製作事業補助経費

1000万円

- ・佐賀市の資源を活用した映画の製作に対する補助経費

### ★観光マーケティング事業

512万円

- ・戦略的で無駄のない観光プロモーションを展開するための調査等に要する経費

### ☆MICEと連携した観光消費促進事業

2838万円

- ・SAGAアリーナ来訪者向けの特別クーポンの発行や市内観光周遊タクシーの運行、宿泊プラン造成支援に要する経費

### ☆熱気球大会開催事業

2億47万円

- ・熱気球大会の開催に要する経費

### ☆街なかリーディング促進事業

2280万円

- ・SAGAアリーナ来訪者の街なかへの誘導と回遊・消費行動の促進に向けた街なか駐車場無料デーの実証等に要する経費

### ☆スマート農業推進事業

2998万円

- ・スマート農業機器の導入を行う農業者に対する補助経費およびスマート農業の普及啓発のための研修会等の開催に要する経費

渡って安定的に継続するため、民間との関わり方を含めてどのような形がいいのかを検討していくことが必要であり、対象とする施設やエリアなどの事前検討や基礎情報を収集整理することを目的とする。



佐賀市下水浄化センター

【質疑】緊急事態発生時の危機管理体制は。 【答弁】受託者との取り決めの中で、管理体制と責任の所在について十分に担保できるように考える必要がある。 【質疑】運営権とは具体的に何か。 【答弁】管路を含んだ下水道施設等を運営して収益を得る権利であり、この運営権を与えることにより、受託者は安定的で自由度の高い運営が可能となり、また利用者に対しては、ニーズを反映した質の高いサービスを提供することが可能となる。



コミュニケーション支援ボード  
出典：(公財)明治安田こころの健康財団 HP

議案等質疑とは、議案等について、提出者（執行部）に不明点や疑問点を聞き、説明や所見を求めるものです。2月定例会では、紙面の都合で掲載できなかった内容も多くありました。ぜひ、動画配信でご覧ください。



当 は「令和6年度当初予算」です。

☆さが園芸888整備支援事業

1億4785万円  
・所得向上に向けた収量・品質の向上や低コスト化、規模拡大等のための園芸用ハウス、省力化機械等の導入に対する補助経費

☆多面的機能支払事業(田んぼダム加算分)

1億173万円  
・田んぼの排水口に堰板を設置し雨水貯留能力を高め、大雨時に下流域の浸水被害を軽減する田んぼダムの取り組みに対する補助経費

★基幹水利施設ストックマネジメント事業(川副東部排水機場保全高度化実施計画策定分)

1900万円  
・川副東部排水機場の保全対策工事に向けた実施計画の策定に要する経費

☆水草除去強化支援事業

3000万円  
・水路等において大規模に繁茂する特定外来生物(ナガエツルノゲイトウ、ブラジルチドメグサ)の防除に要する経費



ナガエツルノゲイトウ

☆森林経営管理事業

8531万円  
・森林経営管理制度に基づく森林整備や森林整備を促進するための人材育成、木材の利用促進や普及啓発に要する経費

☆漁港施設ストックマネジメント事業

1億525万円  
・漁港施設における機能回復のための栈橋補修等に要する経費

☆農地・農業用施設災害復旧事業

19億4960万円  
・令和5年7月豪雨に係る農地・農業用施設災害復旧経費(過年災)

☆林道災害復旧事業

1億5987万円  
・令和5年7月豪雨に係る林道災害復旧経費(過年災)

建設環境

★地域公共交通再構築事業

1863万円  
・地域公共交通再構築の一環として行う交通局舎の再整備に対する補助経費

☆生活バス路線等運行対策経費

3億1141万円  
・生活バス路線および都市間バス路線の確保のための交通局等に対する繰出金・補助金等

☆建築物耐震対策事業

3億2243万円  
・建築物の耐震診断、耐震補強設計および耐震改修工事ならびにブロック塀の撤去等に対する補助経費

☆空家等対策事業

3006万円  
・空家等の適正な管理を図るための対策に要する経費

☆神野公園再整備事業

2372万円  
・神野公園の再整備に向けた実施設計等に要する経費

☆河川水路の浚渫伐採事業

1億1400万円  
・大雨・洪水時において、河川水路の氾濫や家屋等の浸水を未然に防ぐための水草繁茂箇所および泥土堆積箇所の除草・浚渫に要する経費

☆光法団地建替事業

6億2357万円  
・市営光法団地の現地建替に要する経費(令和5・6年度継続費 総額11億191万円)

☆公共土木施設災害復旧事業

1億2411万円  
・令和5年7月豪雨に係る河川災害復旧経費(過年災)

☆脱炭素社会推進事業

826万円  
・次世代自動車、電動アシスト自転車および太陽光発電設備の導入費用等に対する補助経費

★生活環境美化推進経費(特定美化地区関連分)

76万円  
・SAGAサンライズパークから佐賀城公園周辺エリアを特定美化地区に指定することに伴う地区表示看板の設置に要する経費

☆清掃工場施設大規模改修事業

839万円  
・清掃工場の基幹設備の改修に向けた発注仕様書作成等に要する経費

当 ウォーターPPP基礎調査業務委託

課題解決にどう寄与するのか

【概要】ウォーターPPPは、施設を包括的に委託する手法で、運営権を含む手法のコンセッション方式のレベル4と、新しく設定された運営権を含まない管理・更新一体マネジメント方式のレベル3.5がある。

【質疑】緊急事態発生時の危機管理体制は。 【答弁】受託者との取り決めの中で、管理体制と責任の所在について十分に担保できるように考える必要がある。 【質疑】運営権とは具体的に何か。 【答弁】管路を含んだ下水道施設等を運営して収益を得る権利であり、この運営権を与えることにより、受託者は安定的で自由度の高い運営が可能となり、また利用者に対しては、ニーズを反映した質の高いサービスを提供することが可能となる。

当 情報コミュニケーション推進補助金等

条例の周知広報は

【質疑】全障スポに向けて「障がいのある人もない人も心つたわる条例」の周知、広報は。 【答弁】公共施設等にチラシを設置し、広く周知するとともに、LINE等のSNSなどでも活用していきたい。そのほか、話し言葉によるコミュニケーションが困難な方を対象としたコミュニケーション支援ボードを活用していく。また、市民や事業者が、障がいのある方の情報保障に対する理解を深めていただけるよう取り組みを進めていく。

当 物流拠点構想策定経費

自衛隊駐屯地の位置づけは

【概要】本市の南部地域に交通インフラが集積しつつあるこの機会を好機と捉え、経済の活性化や雇用の創出を目的として、南部地域を物流拠点として発展させるための構想の策定を目指す。 【質疑】物流拠点構想における自衛隊駐屯地の位置づけは。 【答弁】目指すべき姿の可能性の一つに災害時に貢献できる物流拠点を挙げているが、駐屯地を特に位置付けてはいない。今後、物流拠点におけるヘリポートの整備や災害時の自衛隊による協力などにより、災害時に貢献できる物流拠点としての可能性については検討していきたい。 【質疑】物流拠点構想を検討する上で自衛隊駐屯地が攻撃対象となることを念頭に置いた検討をすべきでは。 【答弁】駐屯地の整備に関わらず、南部地域を物流拠点として発展させ、本市の経済の活性化や雇用の創出を図るための構想として、検討を進めていく。

# 常任委員会の審査報告

常任委員会では、本会議から付託された議案や請願などについて審査を行っています。2月定例会での各委員会の主な審査内容を紹介します。

## 総務委員会

### 当 物流拠点構想策定経費

〔質問〕 2024年問題があるなかで、あえて物流拠点を南部地域に作る意味合いは何か。

〔答弁〕 佐賀空港や有明海沿岸道路等、南部地域に集積しつつある交通インフラを活用した輸送の検討をスタートとしている。また、物を動かすだけでなく、産業団地のようなものを含めた構想も可能性として考えている。

〔質問〕 もう少しスピード感を持って現状を認識しながら進めないと、いつまでたってもできないのではないか。

〔答弁〕 来年度は予定地など、より具体的な部分も含め、できるだけ早く構想の策定を進めていきたい。

### 当 プロスポーツ連携事業

〔質問〕 佐賀バルナーズ連携事業について、今後の支援の全体像が見えないがどのように考えているのか。

〔答弁〕 佐賀バルナーズのBプレミアの参入・定着支援について、参入後の支援は現時点では判断できないが、初年度の令和8年度までは令

## 経済産業委員会

### 当 スマート農業推進事業

〔質問〕 農業を辞める人が増えれば、農地が荒れ、水源涵養機能が低下し、水害発生の要因となる。離農者が比較的多い中山間地域でこそ、スマート農業を推進し、作業の効率化を図るべきでは。

〔答弁〕 中山間地域の農業が非常に厳しい環境だと十分認識している。中山間地域での機械導入には、補助率のかさ上げや、電波が弱い場所でもドローンの自動飛行が可能となるRTK基地局の導入補助を行い、効率的に農薬散布ができるよう支援していく。



先端技術の活用で、効率的な農業を可能にし、農業経営の安定・強化、地域農業の担い手の育成・確保を

### 当 観光マーケティング事業

〔質問〕 観光アンバサダーの任命に

和6年度(5000万円)と同程度の支援を行っていききたい。



がんばれ! 佐賀バルナーズ!!

〔審査結果〕 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

## 委員会で審査した議案

- 令和6年度一般会計予算(所管分)
- 一般会計補正予算(第11号)(所管分)
- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正
- 手数料条例の改正
- 公民館条例の改正

その他7件

## 委員会で審査した議案

- 令和6年度一般会計予算(所管分)
- ▶スマート農業推進事業
- ▶観光マーケティング事業
- 自動車運送事業会計予算
- 一般会計補正予算(第11号)(所管分)
- 自動車運送事業会計補正予算(第2号)
- やまびこの湯条例の改正
- 桜基金条例を廃止する条例

その他2件

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

際し、応募者のフォローの属性や投稿内容の分析は行うのか。

〔答弁〕 有名インフルエンサーの活用ではなく、佐賀市を好きな一般の方を中心に佐賀市の魅力を発信してもらおう取り組みであり、属性や投稿内容の分析は行わない。

〔質問〕 本事業の成果指標についてはどのように考えているのか。

〔答弁〕 特定のハッシュタグがついた投稿数を成果指標とし、観光アンバサダー300人、投稿数は3400件を目標に、佐賀市の魅力を発信していきたい。

## 福祉教育委員会

### 当 ことも誰でも通園制度 試行的事業

〔質問〕 認可保育園や、認定こども園などに就園していない3歳未満の子どもの数は。

〔答弁〕 未就園児数は約3千人と把握している。

〔質問〕 未就園児の一時預かり保育事業との違いは何か。

〔答弁〕 未就園児の一時預かり保育は、週3日以内かつ月14日以内での利用になる。利用するには、冠婚葬祭や急な用事などの理由が必要である。こども誰でも通園制度は、月10時間が利用上限となっている。園が受入れ可能であれば、誰でも理由なく利用できる。



親の就労や理由の有無に関係なく、6カ月～3歳未満の子どもの預けられる「こども誰でも通園制度」。市内の教育・保育施設5施設程度、利用定員は全体で20名程度での試行的事業を実施予定です。

## 建設環境委員会

### 当 地域猫不妊去勢手術 助成金

〔質問〕 地域猫活動は、手術費用だけでなく餌代も負担になっていると聞く。予算の確保を含めて、制度内容の見直しが必要ではないか。

〔答弁〕 県内の自治体では餌代や捕獲に関する費用を補助するところもあるが、佐賀市ではまだ活動に取り組み団体を増やしていこうとしている段階であり、不妊去勢手術以外の補助については、今後検討する課題だと考えている。



地域猫活動とは、野良猫に不妊去勢手術を施してこれ以上増えないようにし、一代限りの命を全うするまでその地域で衛生的に管理をする活動のことです。手術を受けた猫は、目印として耳先を桜の花びらの形にカットされています。(写真はイメージ)

### 当 統合型校務支援システム 導入事業

〔質問〕 教職員からは、市町によりシステムが違うので異動したら使いにくくなったとの声を聞く。県内システムの統一に関する協議は行っていないのか。

〔答弁〕 県内市町のシステム担当者の連絡会の中で、どういうシステムを使っているか、統一できないかといった協議は行っている。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。また請願2件については、いずれも不採択とすべきものと決定。

## 委員会で審査した議案

- 令和6年度一般会計予算(所管分)
- 一般会計補正予算(第11号)(所管分)
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正
- 学校給食センター設置条例の改正
- 健康保険証の存続を求める請願書
- 国民健康保険税の減額を求める請願

その他11件

## 委員会で審査した議案

- 令和6年度一般会計予算(所管分)
- 一般会計補正予算(第11号)(所管分)
- 三神地区環境事務組合規約の変更
- 市営住宅条例の改正
- 空家空地等の適正管理に関する条例の改正
- 市道路線の認定

その他7件

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

〔質問〕 令和6年度は危険空家除去費助成事業のほかに、空き家利活用相談支援事業など4つの事業が加わっているが、市民への周知方法は。

〔答弁〕 従来の広報に加えて、相談支援事業の委託先となる専門業者を通して周知を図りたい。

〔質問〕 事業拡充に伴い、空家等対策協議会の構成員拡充などの専門的な取り組みの強化が必要だと思ふが。

〔答弁〕 協議会にも専門部会の在り方などを相談し、取り組みの強化を進めたい。



## 自転車でもヘルメットをかぶろう！



ヘルメットは命を守ります

**問** 令和5年4月から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。しかしまだまだ着用している人は少ない状況である。①本市の着用率と対策は②特に高校生の未着用が見受けられるが対策は③中学生のヘルメットを自由に選択できるようにならないか。

**答** ①昨年7月時点で市内の着用率は23・4%。交通安全教室や出前講座での周知に加え、街頭キャンペーンや交差点での指導、動画の配信などさまざまな手法で啓発に努めている。②定期的に行っている街頭指導の活動場所や指導方法の見直しを図るとともに、マナーアップモデル校との連携にも積極的に取り組む。③ヘルメットの指定は各学校の裁量によるが、その議論に生徒が関わり、選択できるようにすること卒業後の着用につながるものであれば、見直す意義が増すと考える。

(ネットワーク佐賀)  
とみなが あけみ  
富永 明美



1

# 「市政ここが聞きたい」

## 一般質問

一般質問動画配信



**一般質問とは** 議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して質問を行うことです。

**質問内容** 議案とは関係なく議員が自由に決めて、事前に通告しています。

**制限時間** 質問と答弁を合わせて、一人60分以内です。



## 市木造建築物に墨つけ手加工法を！



市発注の小規模木造建築物

**問** 木造建築物を建てる方法は、昔からの墨つけ手加工とプレカット加工がある。市発注の小規模建築物工事に二つの工法を選択制として採用したがすべてプレカット加工で行われた。技術継承の観点から、墨つけ手加工で建てるのが望ましいと思うが、市の考えは。

**答** 令和4年度から市発注の一部の小規模木造建築物工事について、請負業者が工場加工するプレカット加工か伝統的工法である墨つけ手加工のどちらかを選択できるようにし、墨つけ手加工の機会提供を行っている。実際に墨つけ手加工を採用した工事はまだないが、文化財の修復工事などで欠かせない技術であり、将来墨つけ手加工で施工した工事が出てくるよう選択制を導入した発注は引き続き行ってきたい。

(緑橋自民)  
くろだ としと  
黒田 利人



2



## 公園や学校の遊具の充実を

都市公園に比べ小学校は遊具の新設・更新が極端に少ない

	施設数	遊具総数	平均	5年間の 新設・更新数
都市公園	40	281	7.0	約50
小学校	35	188	5.4	6

小学校は29年でやっと一つ新設・更新される計算

**問** ①教育委員会は遊具の教育的効果をどのように考えているか②学校では安全点検をどうしているか③修繕などの予算はどのようにになっているか④専門的知識を持った者による点検が必要では⑤全小学校を俯瞰した偏りのない整備をすべきでは。

**答** ①児童が遊びながら運動能力を高め、協調性を養えるなどの効果があると認識している。②教職員による月1回の点検及び日常点検を基本として、一部の学校では業者による点検を実施。③遊具の軽微な修繕は各学校で対応。大型遊具などは各学校の対応が困難なものは教育委員会が対応。④必要は認識している。今後、経費を試算した上で検討したい。⑤学校ごとに遊具への要望内容もさまざまであり、基準を設けて一律に設置するのではなく、学校の意見を尊重しながら設置したい。

(自民さが)  
かわさき けんじ  
川崎 健二



3



## 学校給食の無償化を！！



全国学校給食甲子園第3位！富士学校給食センター

**問** ①給食の食材の地産地消の実情は②給食実施校での食育の実施状況は③無償化している佐賀市と同規模自治体の実情は④保護者の負担軽減、出生数拡大、移住者拡大を図り、人口減少に歯止めをかけるために小学校給食を先行して無償化できないか。

**答** ①米は全て市産、牛乳及びパンに使用する小麦は全て県産と、地元食材の使用に努めている。県産食材の利用割合は約43%。②地元農産物へ興味を深めてもらうため献立に郷土料理を取り入れたり、子どもたちが栽培した野菜を給食に使用する取り組みを行っているほか、給食委員会の児童・生徒による残食チェックなど子どもたち自らも取り組んでいる。③人口25万人前後の規模では3市が実施または実施予定。④継続的に年間約6億円の費用が発生し、市単独での予算措置は難しい。

(ネットワーク佐賀)  
まつなが けんめい  
松永 憲明



4

1	富永 明美 (ネットワーク佐賀)	○自転車のヘルメット着用推進に向けて ▶市職員の労働環境について
2	黒田 利人 (緑橋自民)	○公共施設の木造化の推進と木造建築工事業の後継者育成の施策について ▶校区公民館の在り方について ▶投票率アップのための施策について
3	川崎 健二 (自民さが)	○公園・学校の遊具の充実について ▶子どもたちをスマートフォン等の弊害から守るには ▶ナガエツルノゲイトウ等の特定外来生物の駆除を
4	松永 憲明 (ネットワーク佐賀)	○学校給食の無償化の取組について ▶「子どもの権利条例」制定について
5	福井 章司 (自民政進会)	○交通局について ▶人口減少問題について
6	川副 龍之介 (自民さが)	○令和6年能登半島地震を踏まえ、本市の地震への対応と対策について
7	重松 徹 (自民清流)	○SAGA2024国スポ・全障スポに向けた市の対応について
8	中島 妙子 (公明党)	○子育て世帯への包括的な支援について ▶認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて ▶災害時における性的少数者への配慮について
9	堤 正之 (自民政進会)	○佐賀市の観光戦略について ▶姉妹都市などとの交流再開について
10	永淵 史孝 (自民政進会)	○ネーミングライツについて ▶SAGA2024国スポ・全障スポについて ▶こどもまんなか応援サポーターについて ▶佐賀駅周辺整備について
11	中村 宏志 (公明党)	○佐賀市立図書館について ▶佐賀市営住宅について
12	野中 宣明 (公明党)	○はり・きゅう・あんまなどの助成制度について ▶市の組織機構改編について ▶水害対策について

13	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	○教育行政について ▶干潟よか公園及びひがさすの周辺整備について
14	江口 善己 (ネットワーク佐賀)	○民生委員・児童委員の活動について ▶ノリ生産量日本一奪還のための水産業振興について
15	村岡 卓 (公明党)	○孤独・孤立対策への支援について ▶放課後児童クラブについて
16	御厨 洋行 (自民清流)	○神野公園再整備計画について ▶子育て支援について
17	諸富 八千代 (自民政進会)	○公共施設等総合管理計画について ▶脱炭素政策の見える化について
18	江原 新子 (自民さが)	○市営バス運転士の人材確保について ▶制度改正後のふるさと納税の状況について
19	嘉村 弘和 (自民政進会)	○佐賀市における脱炭素の取組について ▶清掃工場の焼却炉改修について
20	稲葉 嵩広 (自民さが)	○小学校給食の無償化について ▶本市の公金の運用について
21	江頭 弘美 (自民さが)	○蓮池のまちづくりの拠点(蓮池公園)づくりについて
22	西岡 真一 (自民清流)	○九州新幹線西九州ルートについて ▶老人クラブへの支援について ▶防災対策について
23	山下 明子 (市民共同)	○市民が利用しやすい市有施設に～ミュージカル県SAGAプロジェクトを踏まえて ▶佐賀空港への自衛隊・オスプレイ配備計画について、市長の見解を問う ▶佐賀市立図書館をより身近に、より利用しやすくするために ▶公共交通施策をめぐる市の対応について
24	川原田 裕明 (緑橋自民)	○市長の市政運営・政治姿勢を問う

番号は、質問順、( )内は会派名・準会派名、掲載は大項目のみです。○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。

## インバウンドへの観光戦略見直しを！



外国人観光客はコロナ前の9割に回復 (写真はイメージ)

**問** インバウンド (海外観光客) 誘致について①市の誘致策は②インフルエンサーの活用状況は③市のホームページは訴求力が弱い。情報発信力の強化を④佐賀ならではの旅行プランの構築は⑤観光戦略プランを見直すべきでは。

**答** ①平成29年から観光PR動画をターゲットの国や地域に配信しており、コンテンツの磨き上げや情報発信に力を入れた②海外から3名のインフルエンサーを招き、佐賀市の魅力を発信してもらった③写真や記事の内容を追加で掲載し、コンテンツの充実を考えている④バルーンを活用したイベントの開催や新しい体験型商品を考えている⑤観光誘客を戦略的に進めることは重要であり、調査を継続して効果的なプロモーションにつなげたい。

(自民政進会) つつみ まさゆき  
**堤 正之** 9

## 交通局は人員拡充に全力をあげよ！



2024年問題や路線廃止など交通局の課題解決を急げ

**問** ①交通局は2024年問題をどう認識しているか②その場合の人員不足対策は③女性乗客の雇用対策は④西鉄バスの江見線廃止について交通局はどう捉えるか⑤江見線廃止による市民の交通手段確保のため、市はどう対応するか。

**答** ①時間外労働に対する制限が強まり、運転士不足は一層深刻さが増すと認識している②人材募集サイトの利用をはじめ、自衛隊をターゲットとした募集などさまざまな取り組みを行っている③女性用の休憩室やトイレの設置など、職場環境の向上を図っている④深刻な運転士不足によるものと聞いており、苦渋の決断であったと考える⑤利用実態の把握のため、沿線市町と連携して乗降調査、利用者へのヒアリングを行った。このデータをもとに県や沿線市町と対応を協議する。

(自民政進会) ふくい しょうじ  
**福井 章司** 5

## 当市でもネーミングライツ導入を！



当市もできる！ネーミングライツ

**問** ①ネーミングライツ導入に関するサウンディング型市場調査後の応募等の現状を聞く②応募に至らなかったという結果を、市はどのように分析しているのか③諦めるには早く、代替策はまだあると考えるが、市はどのように考えているのか。

**答** ①募集期間中に具体的な調査内容の問い合わせはあったが、応募には至らなかった。現在は他都市事例の収集を行っている②制度づくりの協力企業を募集したが、企業側としては命名料や期間等を判断できる内容を望んでいたのではないかと考えた③公募としたため、結果的には、受け身の姿勢となったことも影響したのではないかと考える④命名料や期間などを具体的に検討するとともに、経済団体や企業等にこちらから協力を依頼するなど能動的な調査手法を考えている。

(自民政進会) ながふち ふみたか  
**永淵 史孝** 10

## 本市の地震への対応と対策



日頃から防災意識を高めよう

**問** ①佐賀平野北縁断層帯による地震災害はどのような想定をしているのか②水不足の対応として浄水器の完備や防災井戸の整備が必要では③仮設住宅やごみ回収場所の設置に対する方針や条件はあるのか④「私道」や「水道の私管」の被害に対する支援策はあるのか。

**答** ①県の調査では、最大震度7、マグニチュード7.5の地震により甚大な被害が発生すると想定②浄水器を16台備え、1台1時間あたり最大1.8リットの飲料水・生活用水を供給可。民有の井戸の公的な指定や防災井戸の新設は考えていない③仮設住宅は二次災害の危険のない公有地から選定。ごみの回収は国の指針を踏まえた上で、被災地区近辺に仮置場を設置する④原則、所有者での管理となるが、私道は条件により助成制度の活用が可能。私管は大規模災害時には上下水道局で対応する。

(自民さが) かわそえ りゅうのすけ  
**川副 龍之介** 6

## 図書館本館大規模改修に市の特色を



30周年記念と図書館本館大規模改修が予定されている

**問** 開館後約28年経過による施設の老朽化や来館者数の減少傾向等の課題があり、本館大規模改修が予定されているが①その内容と範囲は②隣接する県施設との関係性は③国内外の事例を参考に比較検討して議論を重ねるべきでは④佐賀市の特色を反映するべきでは。

**答** ①公園のように過ごせる図書館を目指して、いろいろな体験を通じてリアルな本への興味、関心を促す。さまざまな椅子を配置し「椅子とベンチの図書館」をシンボルとしたい。図書館本館が対象だが、屋外と一体となった空間づくりを機能強化の一つとする②図書館と親和性の高いアバンセと連携し、エリアの持つポテンシャルを最大限に生かす③先進事例を調査し、これらを参考に策定委員会等で議論を繰り返している④市産木材や地場産業の諸富家具等を活用し郷土色も出したい。

(公明党) なかむら ひるし  
**中村 宏志** 11

## SAGA2024 国スポ・全障スポ



本市おもてなしコンセプトは「応援」

**問** 昭和51年に佐賀県で開催された「若楠国体」では「民宿」がレガシー (遺産) として引き継がれた。SAGA2024 国スポ・全障スポもレガシーとして何か残り、次世代に継ぐことが大事と考えるが、坂井市長に国スポ・全障スポへの意気込みを問う。

**答** SAGA2024 国スポ・全障スポは、国体が国スポに生まれ変わるという新しい大会であり、競技を「する」「観る」「支える」全ての人が楽しむことができる大会となるよう、全庁一丸となって準備を進めていく。また、まち全体で応援やお迎えをすることで、佐賀市のファンやリピーターの増加につなげていくほか、全ての世代の市民が生涯、日常的にスポーツを楽しむことができる新しい時代のスポーツを生かしたまちづくりを行い、地域の活力につなげていきたい。

(自民清流) しげまつ とおる  
**重松 徹** 7

## はり・きゅう・あんまの助成拡充へ



はり・きゅう・あんま制度の積極的な周知を！

**問** 市として利用者の裾野を広げ、より多くの方に利用していただくよう努めていくのであれば、施術1回当たりの助成金額と助成回数の上限を増やすべきである。より良い制度となるよう、助成内容を見直す時期に来ていると思うがどうか。

**答** 過去3年間の助成制度の実績では、制度利用者の平均利用回数が約6回で、4割以上の方が全く利用しておらず、上限回数24回を全て利用した方は1割未満であった。ただ、この3年間は新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられるため、通常期の利用状況を注視する必要がある。また、来年度から、制度利用者の声を聞く等の情報収集を開始し、利用実績や広報の効果等を踏まえ、助成内容の見直しの必要性について判断していく。

(公明党) のなか ふみあき  
**野中 宣明** 12

## 市民に寄りそった子育て支援を！



子どもの成長を社会全体で後押し！ (写真はイメージ)

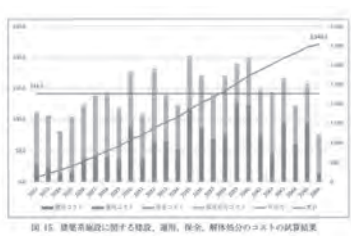
**問** ①これまでの縦割り行政を解消し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援機能を有する「こども家庭センター」の設置について、本市としてどのように検討されているのか②本市の訪問家事支援はどのような内容か。

**答** ①現在、「こども家庭センター」が担うべき業務を健康づくり課とこども家庭課で調整している。今回の児童福祉法等の改正で令和8年度までにセンターの設置が求められるが、市民に分かりやすい組織で子ども政策を一元的に行う体制として、令和7年4月の設置を目指している②支援内容は大きく二つ、一つは食事の準備等を行う家事支援、もう一つはおむつ替え等の育児支援。家庭の状況に応じてこれらの支援を行い、不安等の対応や子育て支援の情報提供を行う。

(公明党) なかしま たえこ  
**中島 妙子** 8



# 負担を将来に先送りにしないために



141.6億円<市の建物にかかるコストの1年平均額！

**問** ①公共施設等総合管理計画の改定の際に使った令和2年度の中期財政計画で見ると、令和5年度の財政状況は厳しくなっている②支所庁舎の複合化等で一定の延べ床面積が削減できたものの、新たな施設整備や旧施設の未解体等により平成28年度と令和5年度の比較では3.4%増加している③今年度設置した公共施設マネジメント推進会議において情報共有し議論を深め、具体的な計画を検討したい。また施設利用者との合意形成を図り、目標に向けて取り組みを推進していきたい。

(自民政進会) **諸富 八千代** 17

**問** 人口減少の影響で、公共施設の維持管理には大きな負担が予想される。市の計画に基づく総量の見直しが必要と考えるが①財政状況は②計画の総量10%削減目標の進捗は③今後実行への取り組みは。

# 市営バス運転士の人材確保について



市営バス運転士 絶賛募集中!!

**問** 現状でも市営バス運転士は不足気味であるなかで「働き方改革関連法」適用は目前である。かねてから提案しているが、定年退職者の多くが50歳代半ばで大型免許の保有率も高い自衛隊退職者確保は、課題解決に有効と考える。退職予定自衛官への求人取り組み状況は。

(自民さが) **江原 新子** 18

**答** 佐賀県自衛隊退職者就職支援協会に加入し求人活動を行っている。自衛隊では幅広い年齢層が随時退職されており、運転経験も豊富で将来のバス運転士として有望な人材がいると考える。今年度は合同企業説明会等に参加して再就職先のPRを行い、退職自衛官1名の採用が実現した。新たな取り組みとして退職予定自衛官を対象にしたインターンシップに6名の参加があり、自衛官OBの現役運転士との座談会も行った。今後さまざまな手段を講じて運転士確保に取り組む。

# 自治体新電力で地域内の経済循環を



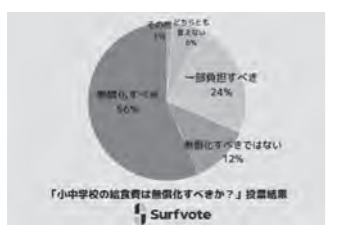
地域と共生する 再生可能エネルギー!

**問** 温室効果ガス削減を目的とする清掃工場ごみ発電の電気の売却先は県外の小売電力事業者であり、市内で発電した電気や電気料金が市外に流出している。この問題解決と再エネの普及拡大のために地元企業をパートナーとする自治体新電力の導入が必要では。

(自民政進会) **嘉村 弘和** 19

**答** 対策として地元資本による地域新電力会社をつくること、市内の電源と需要家をつなぐ仕組みになると考えられ、新電力事業の実現可能性や新電力会社の設立可能性を調査した。新電力事業は地元企業をはじめさまざまな主体とともに取り組みることが望ましく、各主体の合意形成が不可欠である。庁内及び関係者との調整を行うとともに、市内事業者等との意見交換や勉強会の機会を設け、議論を深めていきたい。現在、課題の対応策等さまざまな検討や関係者との調整を行っている。

# 小学校給食費無償化の副次的効果は



給食費の無償化を望む声は大きい

**問** 無償化により可処分所得が増加した場合の用途、取扱いについては、各家庭の状況により異なると考えられ、市内経済にどの程度影響があるかを予測するのは難しい。また、無償化による人口の社会増や経済活性化は、都市の状況により差異があることから、あくまでも副次的なものではないかと捉えている。国は、少子化対策を目的として現在検討を行っており、市でも検討課題の一つとして認識しているが、国からの財政的支援がなければ実施は難しいものと考えている。

(自民さが) **稲葉 高広** 20

**問** 無償化に約6億円の費用がかかるが、該当世帯で合計約6億円の可処分所得が増える。これにより市内総生産が拡大し、市内経済に好影響をもたらすと考える。また、無償化により周辺地域からの人口流入や自然増も期待できる。本市も無償化に取り組みべきでは。

# 佐賀市学校教育の現状と課題を問う



中学生にとって部活動は大きな存在。理想的なあり方は

**問** ①特別支援学級の充実に向けての施策は②佐賀市南部に特別支援学校を設置すべきでは③教育長の部活動への思いは④地域の受け皿は確保できるのか⑤新年度に向け、教育長の意気込みを問う。

(ネットワーク佐賀) **山田 誠一郎** 13

**答** ①学校生活支援員等の配置、また学級担任等への研修で指導力向上を図っている②周辺市町と連携し、県に働きかけた③文化やスポーツに親しむ機会の保障、社会性の育成など意義は大きい。長時間練習の弊害や少子化による活動継続の問題などもあり、活動量と内容の見直しが必要④スポーツに関わる各団体と意見交換を行いながら、受け皿確保に努めたい⑤未来を担う子どもたちが新しい時代を生き抜く力を養うため、教育ビジョンを明確にし、不断の取り組みを進めたい。

# 民生委員・児童委員の活動について



民生委員・児童委員の集いで研修会等を開催

**問** 民生委員のなり手が少なく、自治会長が苦慮されている。①民生委員の定数は②1人の民生委員が担当する世帯数の規定は③担当地域の変更は可能か④民生委員を兼務している自治会長は何名か⑤民生委員の欠員を無くすため、負担軽減に向けた策は。

(ネットワーク佐賀) **江口 善己** 14

**答** ①本市の定数は現在545名。現員数は現在528名で、欠員が17名②県の条例では、70世帯から200世帯と規定されている③定数の増減を伴わなければ可能。自治会の単位や関係団体との連携性、担当地域の範囲など、地域ごとの状況により決められており、見直しには地区内での十分な協議が必要④2月現在で28名⑤関係機関等に、民生委員はつなぎ役ということを知り、負担の軽減を図るよう努める。また、民生委員へのアンケートにより問題点を把握し、軽減策を検討する。

# 孤独・孤立に悩む若者にまなざしを



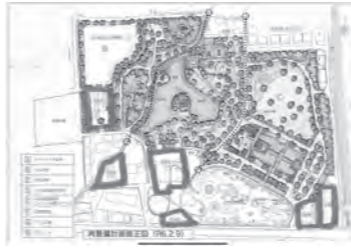
あなたはひとりじゃない ひとりで抱え込まないで!

**問** オーバードーズに見られる若者の薬物依存や健康被害の背景には、悩みや困りごとを吐露する相手がいない孤独・孤立の問題がある①市の現在の取り組みは②若者が相談しやすい工夫が必要では③地域や各種支援団体との連携で幅広く声を拾い上げるためには。

(公明党) **村岡 卓** 15

**答** ①専門の相談員を配置し、学校や社会復帰に向けた支援、学校生活や親子関係など悩みに対する電話・メール相談受け付けなどを行っている②さまざまな方法で相談窓口の紹介を行っているが、重篤な状況になって相談するケースも増加しており、SNS等を活用した周知方法も今後検討すべきと考えている③研修会を通じ、地域の大人に子どもたちが抱える問題を共有していただき、孤独を感じる若者が多いことを念頭に置いた活動をお願いしている。

# 神野公園の未来について考えよう!



駐車場整備が今後の課題

**問** ①桜の名所でありながら桜の木の老齢化が進んでいるように新たな植樹すべきでは②安心安全のための照明灯増設と雰囲気づくりにフットライトや間接照明を設置すべきでは③カブトムシ等昆虫採集ができるようクヌギなど広葉樹の植樹を考えられないか。

(自民清流) **御厨 洋行** 16

**答** ①桜の寿命は60年程度で、神野公園の桜も老齢化が進んでいるため平成27年度以降に70本植樹した。今後も計画的に植え替えを行う②実施設計で施設の配置や園路を計画するが、周辺への影響を考慮しながら、公園内の照度が保てるよう、またフットライトでの雰囲気づくりも併せて考えたい③公園内の昆虫との触れ合いも必要要素。昆虫採集で人気のカブトムシが好むクヌギ等の植樹も検討したい。

※4オーバードーズ…医薬品等の決められた用量を守らずに大量・頻りに服用すること。

# 委員会活動レポート

常任委員会や特別委員会などは、市民生活に深く関わる課題などについて、会期中以外にも調査、研究を行っています。最近の活動内容を紹介します。

## 中核市移行に関する調査特別委員会

1月22日(月)

【執行部説明】これまで5回の庁内検討会で調査検討してきた。中核市として目指す将来像の案として、「健幸」をまんなかに、「活躍できるステージ」と「ほっとできる居場所」がある街をイメージし、もっとウェルビーイングな暮らしづくりを目指すことを議論した。検討課題として保健所設置や人材確保等がある。

Q 保健所の設置における医師や獣医師等の人材確保は大きな問題である。現状の分析ではどのような意見が出ているのか。

A 保健所設置は人材確保などの課題があるが、中核市に移行したことによる行政サービスの効率化などのメリットも意見として出ている。保健所設置も含めたあらゆる議論を通じて、中核市に移行する、しないのどちらがより市民サービスの向上が図られるのかという議論を行っている。

Q 先行自治体では児童相談所の設置により子育て関連事務がスムーズに進むようになったと聞く。児童相談所の設置は検討しているのか。

A 中核市でも児童相談所を設置している自治体は少なく、その要因として施設建設や人員配置に対して国から十分な財政支援がないことが挙げられる。現在、法定移譲事務をベースに検討を進めており、任意移譲事務である児童相談所の設置は、国や他市の動向を注視しながら検討していきたい。

2月8日(木)、9日(金)

行政視察 先行して中核市に移行している愛知県一宮市議会、福井県福井市議会を視察し、中核市移行に至るまでの経緯や、移行に伴う業務、保健所の設置、市民の反応、移行の効果、今後の課題などの説明を受けました。



愛知県一宮市議会の視察の様子

## 佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

1月12日(金)

現地視察 佐賀空港ターミナルビルの屋上で駐屯地工事の進捗状況について説明を受けた後、国造掘樋門で排水関連施設の概要等について説明を受けました。この施設は、駐屯地等に降った雨水を一時的に貯留して、堤防の外から取水した海水と混合し排水するもので、有明海漁協の要望に基づき設置されるものです。

2月9日(金)

【執行部説明】駐屯地への誘導路整備及び空港水路の改修工事において、空港建設に関する公害防止協定書に定められた対策が適切に措置されているかを確認するため、県と事前協議を行った。市として、適切な対策が措置されていると判断されるため、「異議なし」と回答する。

Q 工事中に発生した汚濁水等の水質検査の方法は。

A 濁水処理施設に検査機器が設置され常時検査が行われ、水質基準を満たしたもののだけを排水する。

## 経済産業委員会

2月13日(火)

J Aとの勉強会を開催！

J AさがとJ A佐賀中央会から、後継者対策、さが園芸888運動の進捗状況、物流問題、労働力不足、耕作放棄地など、直近の農業情勢に関する説明を受けた後に、執行部も交えた意見交換を行いました。



## 議会広報広聴委員会

1月24日(水)、25日(木)

行政視察 市議会では現在、議会だよりのリニューアル挑戦中です。先進地である広島県東広島市議会、大阪府八尾市議会を視察し、リニューアルの手法や改善点などを学び、大きな刺激を受けました。



## 蓮池公園をまちづくりの拠点に！

(自民さが) 江頭 弘美

21



市の文化度が疑われる？8年間放置されている天賜園石碑

問 「公園を見ると、そのまちの文化度が測れる」と言われる。蓮池公園の発想の基礎となった江戸時代の「天賜園」の石碑が8年間も放置されている現状は嘆かわしい。いま一度、150年来の歴史を踏まえ、地元住民と行政が一体となってつくり上げるべきではないか。

答 石碑は、熊本地震後の点検で危険な状態にあると判断し、元の場所から移して仮置きしたままになっていた。これまでの歴史等を踏まえ、設置場所を検討したい。今後は、老朽化した案内板の改修、桜の生育状態を改善するための土壌調査、割れて使用禁止となっている石橋の復旧、さびた欄干の塗り替えなどを検討している。蓮池藩の歴史を大切に、蓮池公園を地域の拠点として捉えておられる地域の方々と共に、公園の今後について考えていきたい。



## 新幹線 佐賀市としての立場を示せ

(自民清流) 西岡 真一

22



新幹線このままでいいの佐賀市！

問 四国や東九州で新幹線を誘致する動きが活発になってきた。西九州ルートでは、久留米分岐の南ルート案が声高である。市長は、これまでの県の考えをなぞるような答弁ばかりしているが、佐賀市にとって何が最適なのか、市としての立場を明らかにすべきでは。

答 これまで国からは、仮にフル規格で整備する場合の3つのルート案が提示されているが、これらは国の視点で見てもであり、本市として判断するには、まだまだ材料が不足している。市民生活に大きく影響する論点が数多くあり、このような状況では、本市として判断する上での重要な要素を欠いている。どのような整備方式やルートでも、市民の利便性や本市の発展につながる事が最重要と考えており、しっかりと情報を取りながら、市としての考えを深めたい。



## 県民ミュージカル受け、対応を問う

(市民共同) 山下 明子

23



県民 200名規模の出演で成功したアリーナミュージカル

問 今年1月のSAGAアリーナでの県民ミュージカル上演は全国でも稀有。主な練習会場のメイトプラザではホール使用と体育使用の料金格差が大きく、市民団体には負担となった。市民の文化芸術活動を支援する上で、利用しやすい対応や支援を求めるがどうか。

答 メイトプラザ多目的ホールの、午後6時から9時までの3時間の使用料金は、ホール利用で9670円、体育利用で1750円である。使用料金については、使用目的や予約の時期で異なっており、運用に変更の予定はない。これからの文化や芸術の振興には、市民、県民の力による取り組みが必要である。市民による文化振興活動を今後もしっかりとサポートしていくとともに、活動の現場に向くなどしながら、市としてどのように寄り添い支援していくのかを考えていきたい。



## 市長の市政運営・政治姿勢を問う

(緑補自民) 川原田 裕明

24



坂井市長の政策ビジョンは！？

問 ①市長が政策ビジョンに掲げる「リッチ・ローカル佐賀市」とはどのようなものか②令和5年度当初予算で掲げた政策の進捗状況は③今年度政策に取り組んできた中で見えてきた課題は。またその対策は。

答 ①人口やGDPは減少していくが、だからこそ今後は一人一人の個性や可能性、地方が持つ価値に光を当て、佐賀市独自のよさを高め、豊かな地方都市とすること②新たな取り組みとして佐賀の地勢を生かした「田んぼダム」によって大雨による浸水面積を3分の1減少できた。また、DXの取り組みで公式スーパリアプリをリリースし市民目線の利便性向上に努めた③政策を進める際、賛否が分かれたり壁にぶつかるところもあるが、難しい時代だからこそ挑戦する姿勢で取り組みたい。



## 佐賀東高校×佐賀市議会 意見交換会を開催！

選挙権年齢が18歳に引き上げられてから、はや8年。学生生活を過ごす中で有権者となる世代の意見を聞き、交流を深めるため、令和6年2月2日に、高校生と議会広報広聴委員会との意見交換会を行いました。

市議会を訪れてくれたのは、佐賀東高等学校一年生(当時)の18人。「総合的な探究の時間」に、市の職員出前講座を活用し、「食品ロス問題」、「まちづくり」などを学びました。

当日は、各クラスの代表6人が、議場の演壇で広報広聴委員やクラスメイトを前に、作成したスライドを使い、地域課題や解決策について発表しました。それぞれのテーマについて資料を工夫し、たくさん練習を重ねたことが伝わってくる、素晴らしい発表でした。

その後の意見交換では、委員と高校生の自己紹介に始まり、6人の発表それぞれに対する委員からのコメントや質疑応答を行い、双方にとって大変有意義な会となりました。



“ごみ問題” “佐賀の産業” “空き家問題” “過疎化と経済活動” “新幹線問題” “佐賀の農業”



議場での緊張感あふれる発表、お疲れさまでした！

**参加した皆さんの感想**

・発表するのは緊張しましたが、議員さんがうなずきながら真剣に聞いてくれていたので、嬉しかったです。

・議場での発表はとても緊張しました。議員の人たちはこの緊張感の中で佐賀のために自分が言いたいこと、やりたいことを話しているのかと思うとすごいなと思いました。

・私は、人前に出て発表したり、話したりすることは苦手ですが、今回の発表で少し自信が付きました。とてもいい経験になりました。

・議員の方々の普段の活動や発表した内容についての感想を聞いてとても勉強になりました。



いつもは議案の審査などの会議を行っている議会棟会議室での意見交換

**広報広聴委員の感想**

5分という短い時間の中で、自分がこのテーマに取り組んだ理由、問題点、提案をまとめる。これは議員にとってもなかなか大変なことですが、皆さんは、素晴らしい発表をされました。

発表された内容は、多くの自治体で抱えている問題です。市民生活のことをよく考えており、本当に頼もしい子どもたちだと感じました。

この中から地方議員が出てきてくれることを切に希望し、期待をします。このような機会をぜひ、また持たせていただきたいです。

## ◎議会からの意見にどう対処するの？

「令和4年度決算議案に対する附帯決議」について、市長からの対処方針が示されました

令和5年9月定例会で市長に提出した附帯決議に対して、市長から回答がありました。概要を掲載します。  
※附帯決議の内容は、さが市議会だより第82号または市議会ホームページでご確認ください。

### ①東名遺跡・埋蔵文化財センター整備事業

- 市長**
- ▶ 「8000年前、確かにここに暮らしがあった」というコンセプトを実現するため、来訪者や利用者の目線での基本設計等の策定作業を進めます。
  - ▶ 建設に係るコストが高騰する中、必要な経費については十分吟味したうえで、適正な予算計上を行います。
  - ▶ 市民への情報発信と、適時、議会への報告・相談を行いながら取り組みます。



坂井市長(左)から回答書を受け取る山口議長(右)

### ②民生委員・児童委員経費

- 市長**
- ▶ 民生委員・児童委員全員を対象にアンケート調査を実施し、なり手不足の要因を分析します。調査には、現在の委員が負担に感じることなどの項目を加え、問題点等を把握し、負担軽減策を検討します。
  - ▶ 委員推薦方法を見直し、幅広い人選がなされる仕組みを検討します。
  - ▶ 市社会福祉協議会とともに福祉協力員の実態把握に努め、役割の確認等を行い、適切に連携が図られるように支援します。

#### 附帯決議とは

市長(執行機関)から提案された予算や条例などの議案に対して、その執行に当たっての議会としての要望や意見等を表すものです。法的な拘束力はありませんが、市長は、この要望や意見等を尊重する政治的・道義的な責任を負います。

### ③避難行動要支援者支援対策事業

- 市長**
- ▶ 名簿登録の機会を増やす取り組みとして、自治会理事会に対し、登録した方が良いと思われる方に対する登録申請のあっせんを依頼しました。
  - ▶ 「災害要援護者の避難支援ガイドライン」の「関係機関共有方式」、「手上げ方式」、「同意方式」以外の方式の有効性について、他都市の事例を調査します。
  - ▶ 登録申請の案内文書をわかりやすい表現に改める等、運用改善を行います。
  - ▶ 危機管理防災課が実施している防災講座等に合わせて制度や名簿の活用について周知を図り、制度への理解を得られる機会を設けます。一人でも多くの要支援者に避難支援が行き渡るよう、支援員の確保や地域における支えあいの意識の醸成に努めます。

全文はこちらをご覧ください。



## ◎ハラスメント防止研修を実施



「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部を改正する法律」が令和3年6月16日に公布・施行され、政治分野においても、ハラスメントの防止に資する研修の実施が規定されました。市議会では、ハラスメントに対する正しい理解を深めるため、弁護士池辺健太氏を講師に招き、研修会を開催しました。

# 議員からの メッセージ

5月18日から6月8日までの期間に、議員35名が7名ずつの5班に分かれて、市内9カ所で開催6年度議会報告会「みんなでかたろう！市民と議員の意見交換会」を開催します。

お住まいの校区に関係なく、どの会場でも参加できます。ぜひお越しください。

議員はどのような仕事をしているの？佐賀市の今とこれからについて、どのように考えているの？などの疑問をお持ちの方や、議員に伝えたいことがある方、これまで議員と接点がなかったけれど、この機会に会ってみたい方など、皆さまのご来場をお待ちしています。



氏名  
会派名  
所属委員会  
常任・特別

「所属委員会」について

## 常任委員会

議員は、総務、福祉教育、経済産業、建設環境の4つの常任委員会のうちのいずれか1つに所属しています。

## 特別委員会

特別委員会は時々必要とされる事項について調査するために設置します。現在は、3つの特別委員会があります。

- ▶ 佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会（駐屯地）
- ▶ 中核市移行に関する調査特別委員会（中核市）
- ▶ 九州新幹線整備に関する調査特別委員会（新幹線）

## 3班

会場  
▶ 南川副公民館 (5/26)



富永 明美  
ネットワーク佐賀  
福祉教育・新幹線

政治をもっと分かりやすく身近に！子育て・教育を中心としながら皆さまの声をつなぎ政策提案してまいります！



重田 音彦  
緑楠自民  
総務・新幹線

「平凡道を非凡に歩め」を心に刻み、市民の真の願いに手が届く佐賀市議会を目指します。



御厨 洋行  
自民清流  
建設環境・新幹線

「子ども・若者・応援宣言！」



嘉村 弘和  
自民政進会  
建設環境・新幹線

皆さんの声を大切に、皆さんと一緒に、あらゆる課題解決やSDGsの達成へ心を注ぎます。



中野 茂康  
緑楠自民  
経済産業・中核市

農業、漁業、林業の担い手の減少が心配されます。一次産業の繁栄が、佐賀市の発展につながります。ガンパロー



堤 正之  
自民政進会  
福祉教育・駐屯地

皆さんの声は議員活動の糧となります。住みよい佐賀市をつくるため、議会報告会を通じてご意見をお聞かせください。



川副 龍之介  
自民さが  
経済産業・駐屯地

市民福祉の向上と市政発展を目指します。「愛をもって正義を貫き子どものために！」

## 1班

会場  
▶ 久保田公民館 (5/25)  
▶ フォレストあふじ (6/8)



江原 新子  
自民さが  
総務・駐屯地

未来を見据えて福祉の充実を。安心して子育て出来るまちに。皆さまの声を耳を傾け、佐賀のために全力で取り組み続けます。



野中 宣明  
公明党  
建設環境・新幹線

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを目指します。



藤田 佳典  
ネットワーク佐賀  
総務・中核市

一男四女の父です。未来を担う子どもたちのため、安心安全な町づくり。親世代・祖父母世代の生活の安定を目指します！



江頭 弘美  
自民さが  
福祉教育・中核市

社会をつくる源は教育である。だから教育より大切なものなんて、ない！をモットーにこれからも市民目線で頑張ります。



重松 徹  
自民清流  
福祉教育・新幹線

初心忘れず市民の「声」をしっかりと聞き、大好きな佐賀市のため、いつも心を前向きに、いろいろな課題に挑戦してまいります。



宮崎 健  
自民さが  
建設環境・駐屯地

未来の子どもたちに素晴らしい文化や歴史を愛する佐賀んまちを残すため、頑張ります。若さと情熱で佐賀を元気に！



村岡 卓  
公明党  
経済産業・駐屯地

現場第一主義で、みなさんの声に耳を傾けてまいります。二歩前への精神で、市政の課題解決に取り組みます。

## 4班

会場  
▶ 川上公民館 (5/18)  
▶ 産業振興会館 (諸富) (5/18)



西岡 真一  
自民清流  
経済産業・中核市

佐賀市の活性化のため、地域課題解決のため、皆さまの安心のため、精進してまいります。頑張ってください！



川原田 裕明  
緑楠自民  
経済産業・駐屯地

元気な街づくりは、市政発展の源。現場で生の声を聞き、さらなる対話を深め、今一歩の前進を目指し、日々精進します。



諸富 八千代  
自民政進会  
経済産業・中核市

人口減少、気候変動に直面する時代。皆さまと一緒に子どもたちを誇れる「佐賀のまち」をつくらせてまいります。

## 2班

会場  
▶ エコプラザ(清掃工場) (5/25)  
▶ 巨勢公民館 (5/26)



中島 妙子  
公明党  
総務・新幹線

「心こそ大切なれ」が座右の銘です。市民の皆さまのお声に耳を傾け、一人一人が輝く佐賀市を築いてまいります。



山田 誠一郎  
ネットワーク佐賀  
建設環境・新幹線

明るく、住みやすい佐賀市を見据えて、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを市民の皆さまと共に！！



稲葉 高広  
自民さが  
福祉教育・新幹線

日頃の議員活動ではお聞きできない事がたくさんあると思います。ぜひ皆さまの市政へのご意見をお聞かせください。



福井 章司  
自民政進会  
総務・駐屯地

市民の代表として、何事も信念を持って、失敗を恐れることなく、必要に応じて大胆に行動します。



中村 宏志  
公明党  
福祉教育・中核市

生活現場の課題や市民皆さまの志と声に寄り添い、安全安心な街を目指し、新時代に向かってさまざまな提案をまいります。



久米 勝也  
ネットワーク佐賀  
経済産業・中核市

現場第一をモットーに、皆さまの声をしっかりと聞き、暮らしやすい街づくりができるように政策提言してまいります。



江口 善己  
ネットワーク佐賀  
経済産業・駐屯地

人生百年・生涯現役を目指す、高齢者の生きがいづくり、高年齢者の生きがいづくりに、国・県・市・区・町・村に、明るく元気な佐賀市に努めます。

## 5班

会場  
▶ 日新公民館 (5/26)  
▶ 本庄公民館 (6/1)



美松 尊信  
緑楠自民  
建設環境・中核市

決断突破、解決。をモットーとし、住民目線と行動力をもって、市民が誇れる佐賀市になるよう全力で取り組みます。



山下 明子  
市民共同  
福祉教育・中核市

議会は住民の代表機関です。議会を使い倒してください。「住民こそ主人公」の初心忘れず、小さな声に心よせて動きます。



川崎 健二  
自民さが  
総務・中核市

佐賀市は人口が毎年1000人ずつ減少しています。知恵を出し合って明るい佐賀市の未来を創造していきましょう。



西岡 義広  
自民さが  
建設環境・新幹線

「いつも地域で足ふんばって」をモットーに「初心忘るべからず」未来ある子どもたちのために頑張ります。



千綿 正明  
自民さが  
経済産業・中核市

子育てしやすい佐賀市にするために、粉骨砕身頑張っています。



平原 嘉徳  
自民清流  
総務・駐屯地

「一以貫之。深い真心をもって一つの思いを貫き通す」という意味ですが、市民の幸福向上に向け、信念を貫き通します。



松永 幹哉  
自民さが  
総務・(副議長)

明日を担う子どもたちに安心して渡すことができる豊かな住みよいまちづくりを目指します。「和を以て貴しとなす」

# 市民と議員の意見交換会

今年は4年ぶりに、皆さまの地区に議員がおじゃまします。「議会のしくみ」や「会議の流れ」などを分かりやすくお伝えし、「皆さまからの声」を伺います。議会や市に伝えたいことを、ぜひお聞かせください。



無 料

申込不要

どの会場に参加してもOK

日付	時間	会場	所在地	担当
5月18日(土)	10:00～11:30	川上公民館	大和町川上 3203 - 1	4班
	19:00～20:30	産業振興会館(諸富)	諸富町為重 529 - 5	4班
5月25日(土)	13:30～15:00	エコプラザ(清掃工場)	高木瀬町長瀬 2369	2班
	14:00～15:30	久保田公民館	久保田町新田 3331 - 3	1班
5月26日(日)	10:00～11:30	巨勢公民館	巨勢町高尾 104 - 17	2班
	10:00～11:30	南川副公民館	川副町鹿江 422 - 1	3班
	14:00～15:30	日新公民館	長瀬町 1 - 20	5班
6月1日(土)	10:00～11:30	本庄公民館	本庄町本庄 279 - 8	5班
6月8日(土)	18:00～19:30	フォレストふじ	富士町古湯 2624	1班

班編成は、P22・23をご覧ください。

## 編集後記

リニューアル挑戦中の議会だよりをお届けします。「多くの市民の皆さまに親しんで読んでいただきたい」と考え、先進地視察で学んだ内容を生かし、紙面の構成にも委員がいろいろと知恵を絞り、ブラッシュアップしておりますが、いかがだったでしょうか。今年度は、議会報告会を市内9カ所で開催します。ぜひ足をお運びください。今後とも全議員一丸となって努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(御厨洋行)



祝  
日本一おめでとう！

「さが市議会だより」の表紙を飾っていただいている佐賀北高等学校書道部のみなさんです。令和6年2月に開催された第28回全日本高等学校書道コンクールでは、5回連続となる団体の最優秀校に選ばれ、27回目の日本一に輝かれました。おめでとうございます！

6月定例会は、6月10日(月)午前10時に開会予定です。会期日程等については、開会日に正式決定し、HPでお知らせします。